

9月22日(月)

おはようございます。僕は基本的に悪い話はしたくないのですが、トイレにいたずらするものが出て、掃除のおばさんが困っておられます。だから、お話しなくてはいけないと思います。こういうのを「未熟」と言うのです。きっと何かつらいことがいろいろあるのだろうけれど、いつもお話しているように、顔はニコニコしていても、悩みのない人というのはひとりもいません。こういう自分にも深い悩みがあります。生徒のこと、学校のこと、家族のことなど、さまざまな悩みがあるのです。またたとえば、ニコニコして給仕をしているホテルの人であっても、マクドナルドのお姉さんでも、悩みを抱えていない人はひとりもいない。みんな悩みをかかえているものです。

その中で、そういう悩みとどういうふうに向き合っていくかということが実は大切なのです。悩みというのは自分もそうですが、そのことを考えだしたらとてもしんどくなって、家内からも、どうしたのですかと言われるほどしんどくなる。ところがですね、それよりも別の大きな悩みが起きると、今度はそのことをすっかり忘れてしまうのです。ものすごく気になって寝られないくらいだったのに、新しい悩みが出てきたらまたそちらの方に向かって、前のことすっかり忘れてしまうのです。人の心というのはそんなものだなと思っています。

しかし、その悩みと、きちんと向き合っていくことが何より大切なのです。ものに当たったり、人が困るようなことをしたりして、ごまかすというのは間違っています。そうするのは、人の心の未熟というものです。心の成長がそれでは遂げられません。そういうことをやっている延長線上が人生であると、はっきりしています。たとえば、自分に悩みがあっても、そういう悩みは人ならばみんな誰でも持っているのだろう。自分が深く悩み、悩むほどに、人もみんなそうなのだろう。そうであればこそ、将来自分はそのような人のお役に立とうと考える人間もいるのです。

前も言ったことがあります、NPO法人 JEN というところの、木山啓子さんのお話。昔、上司に2年の間自分のことを要らないと思われていたというお話です。月曜日の朝電車に乗るときに、胃がクッと痛くなった。その上司と顔を合わさなくてはならず、嫌なことばかり言われるから。ぜったいこの上司は自分のこと要らないと思っている。とにかく自分のことは必要ないと思っていると毎日感じながらその人のもとで過ごした。その2年後、現場に出て実際の救援活動をしようかという話になったときに一番に手を挙げた。その上司が持ってきてくれた仕事だった。上司も自分の厄介払いやと思っただろう。しかし、いい話だと思ったので、すぐそれにとびついた。それで現場に出た。

現場では10人ボランティアを預かった。2人は英語ができなかった。一人は保母さんで一人は看護師さんだった。昔の自分だったら、「ここは自分探しの場じゃない、本気で命がけでその救済救援活動に当たらないといけないのに、英語もできないで何しに来たのだ、さっさと帰れ」とたぶん言っただろう。しかし2年間「いらんいらん」と思われていた上司のもとで過ごした経験から、自分はこの二人を要らないと思わないで、どういうふうに活かして使おうか思った。それで、一人はお父さんお母さんを戦災で失った子供たちの世話をしてもらい、もう一人にはその病院の衛生状態の管理を任せた。すると二人とも大活躍をした。そこで初めて人の使い方というのを覚えたときKさんは言っています。2年間「いらんいらん」と思われていて、悩んで電車に乗るときも胃が痛いぐらいだった。だけどその悩みとどう向き合って、自分の糧に変えていくのかということです。そんな扱いを受けて、私はあの人のせいで人生を間違ったと言って、ものに当たるという道もあるだろう。そう考える延長線上にその人の人生があるのです。しかし同じ事をしてはいけなないと思ひ、人を上手に有効に使おうと考えたら、その延長線上にその人の人生がある。人の心の思ひの延長線上にその人の人生はあり、悩みの向き合い方の延長線上にその人の人生があるのです。

僕がいつも言っている通り、悩みはみんなにある。僕にも深い悩みがあるのですよ。だけとそれとどういふふうに向き合って、それを自分の心の糧に変えていけるかどうか、成長の糧に変えていけるかどうかというのが、人生の大きなポイントなのです。何度でも言ひます。人生は積み重ねです。判断の連続です。つまらない判断をしていたらその連続で、その流れで人生は決まってしまうのです。良い判断をしたら、その延長線上で人生は決まってしまう。そういう意味で心のありようというのはとても大切なのです。

生徒諸君も多くの人が、みんな自分の悩みと上手に向き合おうとしているでしょう。しかし自分の悩みに向き合って、ちょっとよくないかなと思ひている人は、心を立て直して、上手にそれと向き合って、悩みを自分の心の成長に向けてどう糧とするかと考えてください。それこそが福の神のコースを歩くポイントです。自分の悩みは、想像すれば他人の悩みに通じています。どうか、ものに当たったりして未熟なことにならないように気をつけてもらひたいと思ひます。今朝の話はこれで終わります。

( 学校長 )